

とさ
農事組合法人ヒューマンライフ土佐

～生薬栽培で中山間地農業の活性化～



土佐ツムラの森にて中学生の薬草採取体験



冬 柴胡の収穫/軽量で負担も少ない

経緯

- 産地間競争や輸入品などによる価格低迷が続く露地野菜から、価格が安定している生薬栽培に転換。
- 耕作放棄地の拡大防止と栽培技術の普及・面積拡大で安定収入を図り地域を活性化するため、ヒューマンライフ土佐を設立。

取組内容

- 柴胡(ミシマサイコ)、山椒、枳実(ダイダイ)の3品目を中心に生薬栽培を開始。試行錯誤の末確立した栽培方法をできる限り可視化し、契約農家間で共有。
- 水源地の森林の健全化のため、(株)ツムラ、高知県、越知町と当社の4者によるパートナーズ協定を締結し、森林再生事業だけでなく、中学校への出前授業や薬草の採取体験を実施。

活動の効果

- (株)ツムラとの契約栽培により販売が安定。軽量の柴胡は高齢者でも栽培可能で、収入がない冬季の貴重な収入源となる。
- 生薬栽培面積の拡大で、県内外の耕作放棄地拡大防止に寄与。
- 「協働の森づくり」により森林の公益的機能(水源滋養、災害抑制等)が発揮され、また、子供たちは当たり前だった町の豊かな自然が価値があることを再認識。

応募団体からのアピール・メッセージ

新規就農者が地域に根付いていけるよう、関係機関と連携して支援し、中山間地域の所得向上と活性化を図っていきます。また、子供たちに将来、生薬関連の仕事に携わったり、越知町に帰ってきてもらえるよう、出前授業や採取体験などの地域交流活動を益々活発に行います。